

研究シーズ

岩手県立大学

シーズ名	文書処理の知的応用支援システムの開発	分類：6
所属 / 職 / 氏名	ソフトウェア情報学部 / 准教授 / 樽松 理樹	
キーワード	文書処理、テキストマイニング	
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="color: blue; font-weight: bold;">一言アピール</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="color: blue; font-weight: bold;">どんな技術？</p> <p style="color: blue; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">文書が多くて困っていませんか？</p> <p style="color: blue; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">たくさんの文書を、効率よく、活用するためのお手伝いを ご提案</p> </div> </div> <p>現在、コンピュータを利用することで、大量の文書を容易に集めることができます。これらの文書を効率よく活用することが重要になってきています。そのためには、必要な情報を含む文書を見つける、類似した文書を見つける、全体の傾向を知る、動向を探る、などのさまざまな活用方法が考えられます。またコンピュータならではの、人とは異なった面からの活用も期待できます。</p> <p>私の研究では、このような大量の文書を活用する、または活用を支援するようなシステム（枠組み）を構築することを目的としています。具体的には、必要な情報を含む文書を探す、類似する文書を探す、文書内に顕著にあらわれる意見を見つけ出す、文書のある観点で分類する、文書の中にある情報を知識体系として取り出す、文章を構成しなおす、文書の校正を支援する等。</p> <p>このような文書を活用する技術の実現を目指しています。</p> </div>		
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="color: blue; font-weight: bold;">何に使えるの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある事件に対し、過去の判例や新聞記事から訴訟の可能性を探る ・ 記述式のアンケートを、項目ごとに自動的に分類する ・ 文書を読む時に注意すべき言葉や関連する言葉にチェックを入れる。 ・ 読み手がもつ感情を推測して、文書の校正を支援する。 ・ 指示語などを判別し、文書を明確にする。 ・ ある分野の文書から、その分野の専門知識体系を半自動的に構築する。 ・ 過去の特許と比較し、抵触しないかを下調べを行う。 </div>		
関連特許	なし	
関連資料等	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> クラメールの連関係数を援用した類似文書検索システムの提案 (FIT 情報フォーラム 2012) <input type="checkbox"/> クラメールの連関係数を利用した特許公報検索システムの構築 (平成 24 年度電気関係学会東北支部連合大会) <input type="checkbox"/> 語の類義語に基づく確率モデルを利用した照応解析手法の提案 (第 12 回言語処理学会) <input type="checkbox"/> 多量の文書データからの特徴抽出支援システムの開発 (情報処理学会 第 64 回全国大会) <input type="checkbox"/> テキストデータを利用したキーワードネットワーク構築支援システムの提案 (ソフトウェア工学の基礎 VI(FOSE'99)) 	